

正規も非正規も 安全と健康・生活改善



大阪府都連第85回定期大会（10月8日）

22秋季年末闘争はじまる

今年は会計年度任用職員制度が始まって3年目です。自治労連では「誇りと怒りの3 Tアクション」にとりくみました。アンケートには切実な声があふれています。（2面に関連記事）

また、ロシアによるウクライナへの侵略戦争などの影響で、物価が高騰し、私たちの生活はますます厳しくなっています。自治体職員と住民のいのちとくらしをまもるため、この秋季年末闘争で仲間をふやし、誇りを持って働ける職場と、安心してらせる賃金・労働条件の改善を勝ち取りましょう。



おおさか
自治体の仲間

発行：大阪自治労連(大阪自治体労働組合総連合) 2022年10月15日 No.387

〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目13番15号
大阪グリーン会館 4階 ☎06-6354-7201 FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

発行人／有田 洋明 編集人／尾崎 一美
毎月15日発行（1部10円）組合員の購読料は
組合費に含まれています。

つながりを深めて 大阪の保育運動を 盛り上げたい



大阪自治労連保部会会長

定兼 陽子さん

（堺市職労）

今回は9月25日の第33回保部会定期総会で新たに部会長に選出された堺市職労の定兼さんにお話を聞きました。常に周りを巻き込んで、明るい雰囲気にしてしまうパワーを持っている人です。

幼い頃から
「保母さんになりたい」

保育士になったきっかけを聞くと、「小学校の卒業アルバムに保母（1999年より「保育士」と名称変更）さんになりたい」と書いていたとのこと。末っ子ですが、家の近所やいとこたちには小さい子がいて、よく一緒に遊んでいたそうです。その頃から「先生ごっこ」が鉄板だったそうですよ。

子どもを大切にすることが
保護者を大切にする事

保育士になり、子どもたちと関わり保育の勉強をしていく中で、「子どもたちには、しっかり食べられる・



「おめんです」の絵本は子どもに大人気です

しっかり遊べる・しっかり眠れる、そんな環境を作りたい」ということを保育の中で大切にしたい思いが育ってきたと言います。子どもの気持ちや大切にする事で、保護者との関係も徐々に深まっていくことを経験してきたとのこと。

単組ごとの
横のつながりがとても大切

堺市の公立保育所でアルバイトをしていたころ、青年部でバリバリがらばっている先輩がいたそうです。正規・非正規関係なく、青年部のとりくみに誘ってくれ、たくさんつながりを大切にしてくれていたと言います。信頼できる先輩に出会い、正規職員として採用されたとき、自然と組合に加入していましたと話します。職場は別々になりましたが、その先輩とは今も「つながっている」そうですよ。

信頼できる先輩との
出合いが労働組合の加入へ

最後に、部会長就任の動機を聞きました。「保部会の役員になって2年目。今まで多くの方にお世話になりました。少しでもお役に立てるのなら」と遠慮しながら話します。また「自分の単組だけで活動していても、他市の状況まで知ることが難しい。どの単組も組合員が少なくなり運動をすすめる難しさを感じています。だからこそ、単組ごとの横のつながりがとても大切。つながりを深めて、みんなで大阪の保育運動を盛り上げていきたい」と抱負を力強く語ってくれました。